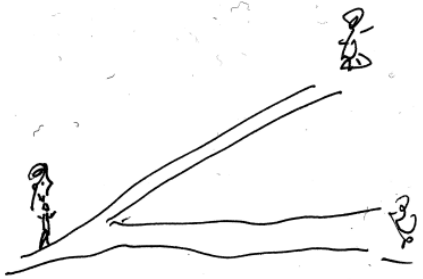
僕はどちらを取るだろうか

その時、あの子の像が頭に浮かんで来た。
僕はふと思い悩んだ。
兄貴が合格するのと、
あの子と僕の恋愛の成就では
「どちらかひとつ」となったら
僕はどちらを取るだろうか。
兄貴のことでなく、
僕自身の勉強とあの子の選択だったら、
僕はどちらを取るだろうか。
むずかしい。
僕にはわからない。
あの子と僕の大学受験ではどうか。
あの子にうつつをぬかし、勉強できなくなる僕、
そんなに弱い僕だったらどうか。
そんな弱い僕だったら、
当然、僕はあの子にはさわしくない。
あの子とのんびり宇治川の土手を散歩したり、
手を取り合って、三条河原で
水鳥の舞うのを眺める自分を想像する。
その幸せな気持ちが僕を支えて、
勉学にも励める、強い僕でありたい。



66 僕はどちらを取るだろうか・・・